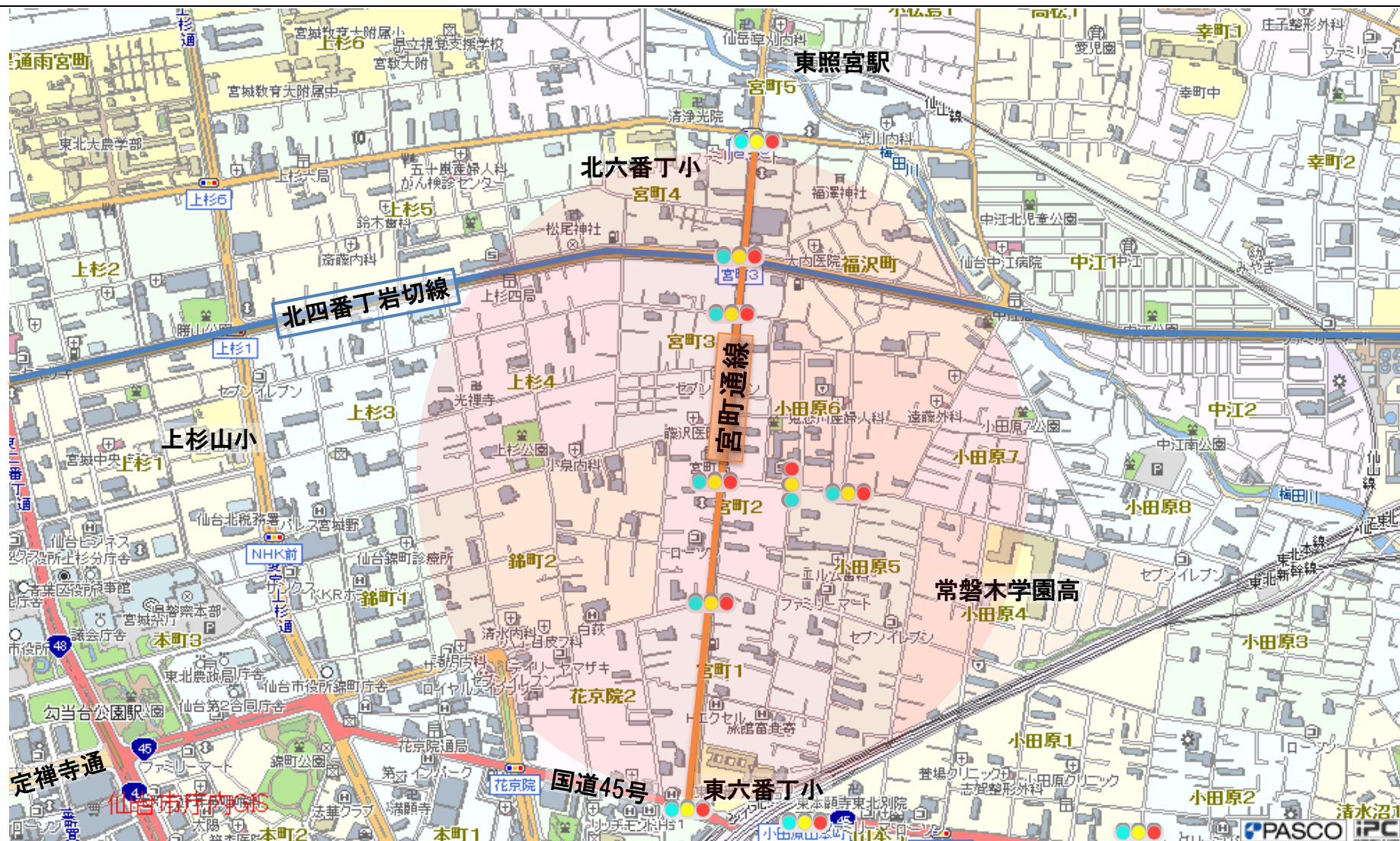


宮町地区における取組み

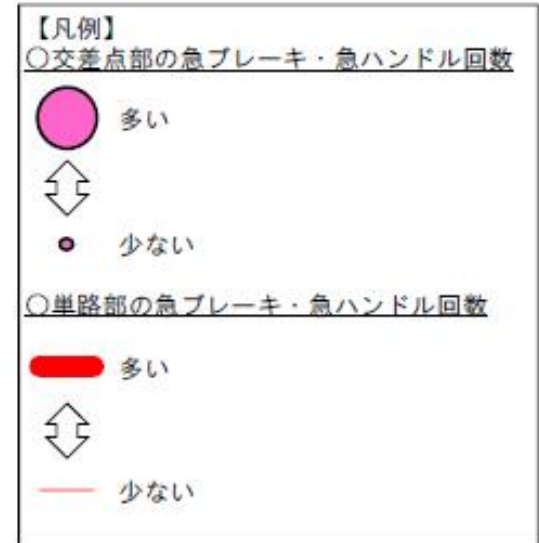
■ 宮町地区の生活道路の状況

- 宮町通線と宮町通線に接続する細街路
- 自動車の事故よりも歩行者や自転車の事故が多く、抜け道利用が多い



■ 宮町地区のデータ分析結果

- 宮町通線の交差点部で、急ブレーキ・急ハンドルの発生回数が多い
- 抜け道利用の多い道路の交差点部で、危険回避行動が多く発生している



データ分析結果による 対策の方針（国交省案）

- 自転車通行環境の改善，適正利用の推進
- 速度抑制
- 抜け道利用の抑制

【集計条件】H27.4月～H28.3月ETC2.0プローブデータから、0.25Gを超える減速・急ハンドル発生回数を集計
※0.25G=1秒間におよそ時速10km程度の速度変化を生じさせる加速度

宮町地区の対策事例（1）



宮町通線の歩行者との接触の可能性

問題・課題



➤ 停止線が消えている



➤ 一時停止（止まれ）標識が見えにくい

宮町地区の対策事例（1）



実施した対策

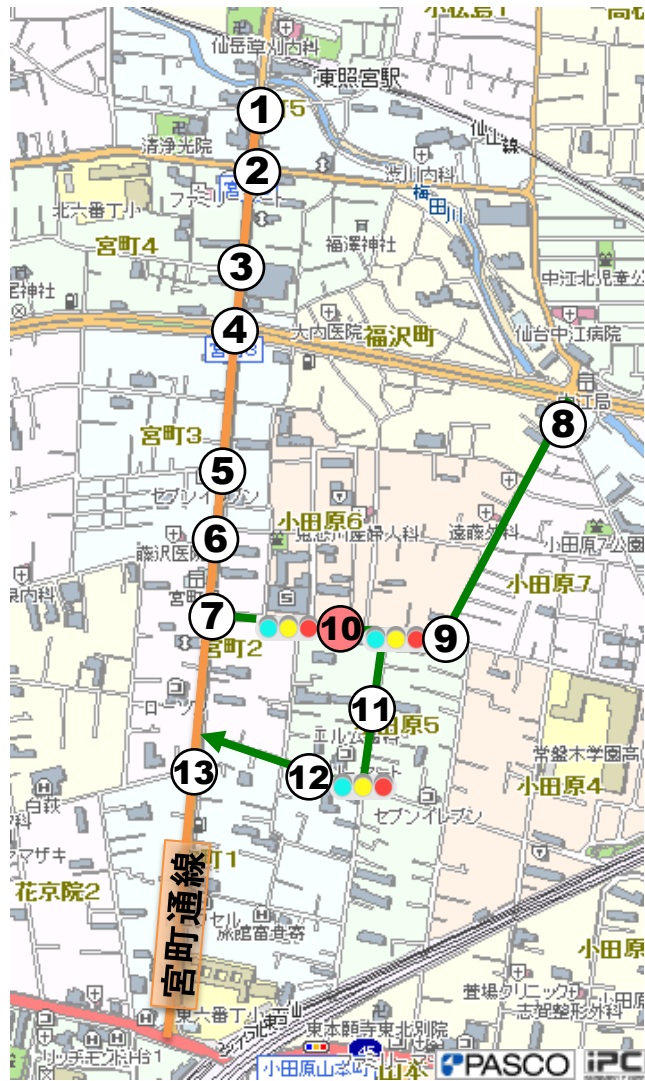


- 一時停止（止まれ）標識の大型化
- 停止線の引き直し
- ポストコーンによる交差点部の狭さく（車道幅を狭める）

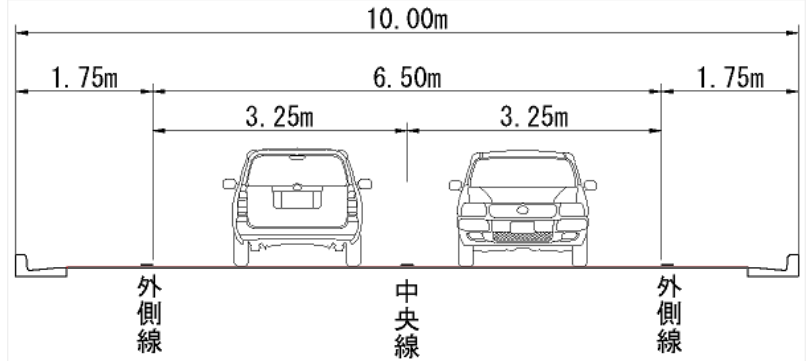


- 一時停止（止まれ）の徹底
- 交差点部の速度抑制

宮町地区の対策事例（2）



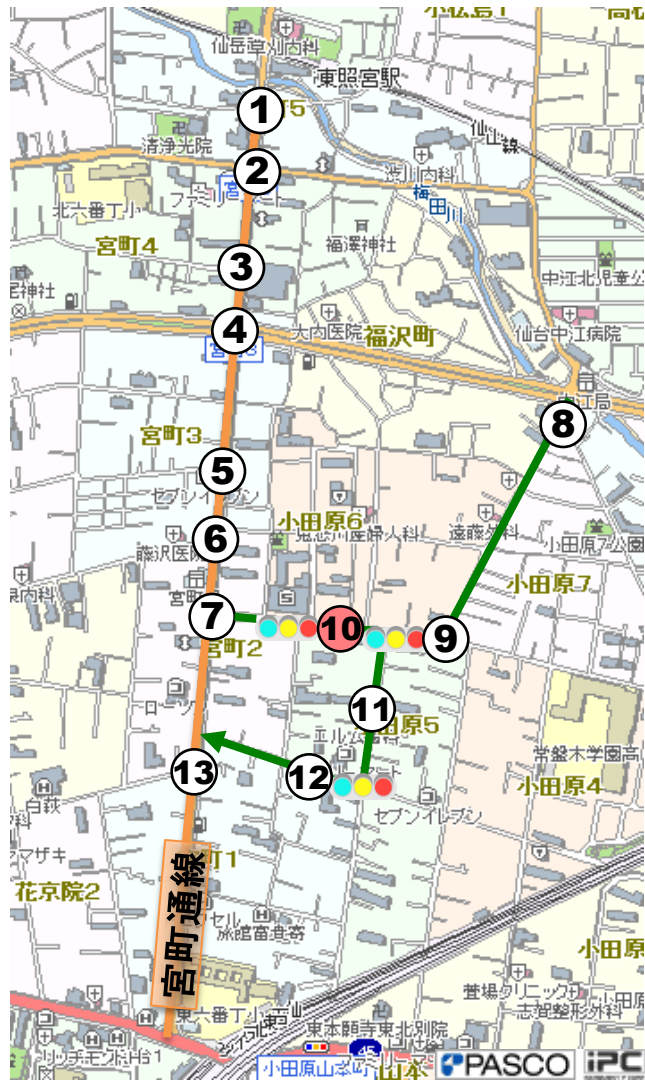
問題・課題



車両と路側帯を歩く歩行者との接触の可能性

- 車道幅が広いため、スピードを上げやすい
- 抜け道利用の車両が多い

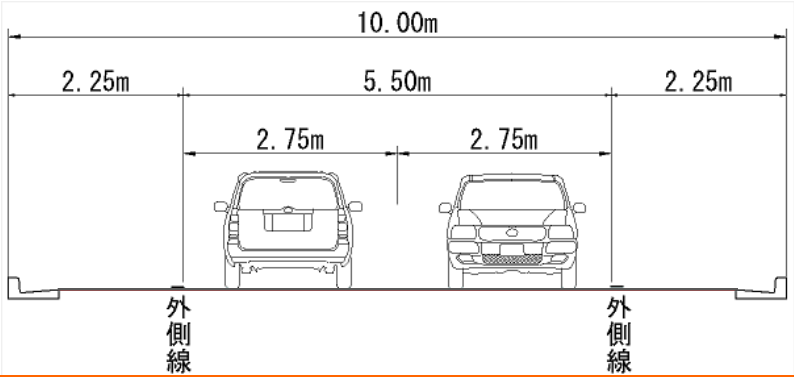
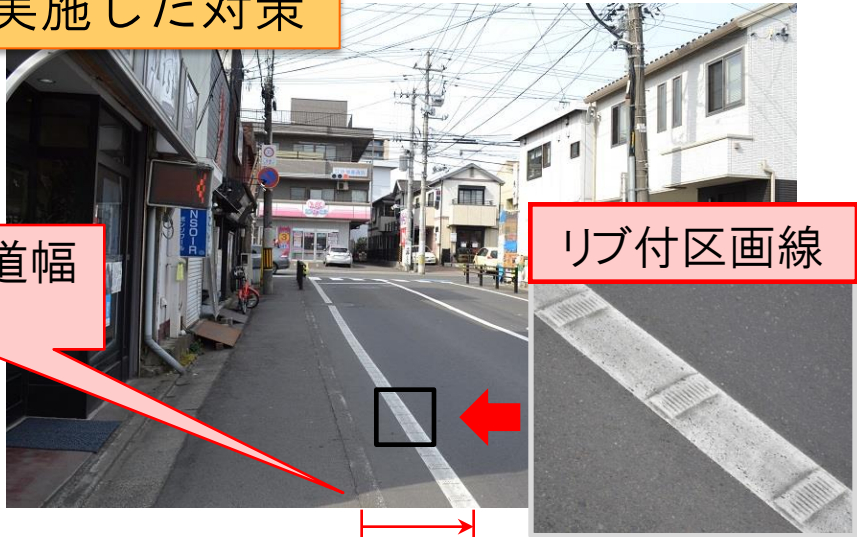
宮町地区の対策事例（2）



実施した対策

50cm車道幅を縮小

リブ付区画線



- 車道幅の縮小化，路側帯幅の拡幅（50cm）
- リブ付き区画線（外側線）で注意喚起

- 歩行者の安全性の向上
- 走りにくくなることによる抜け道利用抑制